

令和5年10月13日
大臣官房技術調査課

BRIDGE10月配分の対象施策が決定されました

～国土交通省関係の対象施策で1施策が採択～

研究開発と Society 5.0 との橋渡しプログラム(BRIDGE)(10月配分)において、国土交通省関係で1施策が新たに対象施策に決定されました。

内閣府において、本年4月より、各省庁での研究開発の成果を社会課題解決等に橋渡しするためのプログラムとして、「研究開発と Society 5.0 との橋渡しプログラム(BRIDGE)」※がスタートしています。

※従来の官民研究開発投資拡大プログラム(PRISM)が見直されたもの

国土交通省を含む各省庁が提案した施策は、内閣府のBRIDGE評価委員会において事前評価を受け、総合科学技術イノベーション会議(CSTI)のガバニングボードで、10月配分の対象施策が決定されました。

国土交通省関係の対象施策は1施策(予算配分額 8,000 万円)となります。

参考:6月配分は9施策(予算配分額 計 203,500 万円)となります。

施策内容(研究開発等計画)については、内閣府科学技術・イノベーション推進事務局のホームページ(<https://www8.cao.go.jp/cstp/bridge/index.html>)に掲載されていますのでご覧ください。

- ・別紙1…BRIDGE の概要(内閣府資料)
- ・別紙2…BRIDGE 対象施策(10月配分) 国土交通省一覧

<問い合わせ>

大臣官房 技術調査課 竹之内 (内 22344)、柴田 (内 22346)

TEL: 03-5253-8111 (代表) 03-5253-8125 (直通)

研究開発とSociety5.0との橋渡しプログラム (BRIDGE※) (内閣府科学技術・イノベーション推進事務局)

令和5年度予算額 555億円の内数 (100億円を充当)

(4年度予算額 555億円の内数)

※programs for Bridging the gap between R&d and the Ideal society (society 5.0) and Generating Economic and social value

目的・事業概要

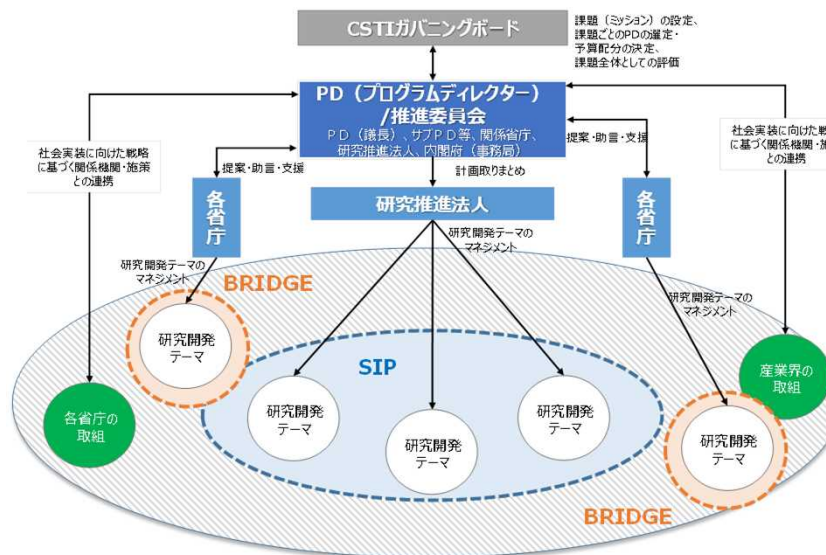
【目的】

- 総合科学技術・イノベーション会議 (CSTI) がイニシアティブを取って、官民研究開発投資拡大が見込まれる領域における研究開発等を推進するため、各省庁における取組の実施・加速等に取り組む。
- SIPとの一体的な運用を推進し、研究開発とSociety 5.0を橋渡し。

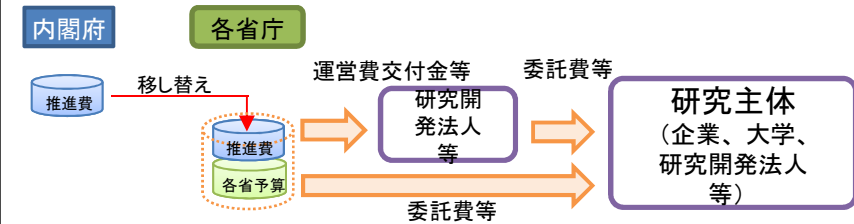
【事業概要】

- 統合イノベーション戦略等に基づき、CSTI の司令塔機能を生かし、革新技术による社会課題解決や新事業創出の推進につながる「重点課題」(例:スタートアップ事業創出、国際的に活躍する若手人材の育成、SIP成果の社会実装等)を設定し、各省庁の研究開発等施策のイノベーション化を推進(研究開発型)。
- 中長期的に官民研究開発投資の拡大を図るため、地域中核大学における民間資金獲得の推進、新SBIR制度における省庁連携の加速等を実施することにより、官民の研究開発投資を誘発(システム改革型)。

＜BRIDGE研究開発型の推進体制＞



資金の流れ



期待される効果

- (研究開発型) 各省庁施策のイノベーション化により、革新技术による社会課題解決や新事業創出を推進するとともに、官民研究開発投資の拡大又は財政支出の効率化に資する。
- (システム改革型) 民間資金・寄付金など外部資金を拡大できる経営基盤の形成による大学等に対する企業の投資額の増大、新SBIR制度の加速等。

【BRIDGE対象施策(10月配分) 国土交通省一覧】

別紙2

対象施策名	PD(プログラムディレクター)予定	配分額 (百万円)	配分機関(百万円)
中高層木造建築物の普及を通じた炭素固定の促進	国土交通省 住宅局 住宅生産課 課長 山下 英和	80	国土技術政策総合研究所(15) (国研)建築研究所(65)

計

80